

## その式 まちの魅力

—— 県北の玄関口・那須塩原駅周辺のまちづくりをどのように進めていきますか

これまで、有識者会議や市民懇談会などで、市内外それぞれの視点から意見をいただきました。特に差異があったのは駅前には何があったらよいかというテーマで、市外から来る人は「那須塩原らしさを感じられるもの」、市民の皆さんからは「店舗などの商業施設」という意見が多かったです。しかし、「今の駅前は寂しい」「にぎわいのある地域にしてほしい」という声は共通していて、想像して

いたよりも全体的な方向性に違いがなかったことに驚きました。さまざまな意見をもとに、**市民の皆さんにとって住みやすい駅前**であることはもちろん、市外の観光客や企業にとっても魅力的で、**民間の資本を呼び込める駅前**にしていきたいと考えています。

—— **ブランド力向上と魅力あるまちづくりのために、どのように取り組んでいきますか**

最近ではGOTOキャンペーンの影響が、多くの観光客が本市を訪れ

てくれています。しかし、これには「首都圏に近く手頃な観光地を選ぶ」というコロナ禍ならではの事情もあり、現状に満足してはいけません。観光客や企業など、収束後も本市に来てくれる「**まちのファン**」をしっかりと増やしたいですね。

また、本市は農業産出額が県内

トップ、全国の市町村の中でも上位17位(平成30年推計)という、農業のポテンシャルが非常に高いまちです。近年の健康ブームや、コロナ禍で体の基礎代謝・抵抗力を高めようという動きも、農業にとって追い風になっていくと思います。今後は、首都圏に向けた新鮮で単価の高い野菜の生産や、観光と食をセットにしたPRなど、**高品質・高付加価値の**

**農業**にさらに力を入れていきたいと考えています。

雇用の面で言えば、コロナ禍で「地方に住みたい、働きたい」と考える人が増えてくると思います。実際、那須地域に「ワーケーションの拠点」などを作りたいという企業からの問い合わせも多くなっているため、これまでとは違った**企業誘致や移住定住施策**を考えていきます。

### ※ワーケーション

ワーク(労働)と休暇(バケーション)を組み合わせた造語。地方や観光地などで働きながら休暇を過ごすことを指す。

皆さんに聞きました！

### 那須塩原駅周辺の未来についてどう考えますか？

出典：那須塩原駅周辺まちづくりビジョンに関するアンケート調査(9～10月)

どのようなエリアになったらいいと思いますか

第1位	活気やにぎわいがあり、散策するのが楽しいエリア
第2位	繁華街や大型店舗を中心とした多くの人々が集まる商業エリア
第3位	災害に強く、犯罪が少ないなど安全・安心に暮らせるエリア
第4位	多くの観光客の出発点となるような観光の拠点となるエリア
第5位	那須塩原らしさや県北の玄関口として象徴となるエリア

必要だと思う施設は



参加してみたい地域活動やイベントは



## その参 持続可能性

—— 長く住み続けられるまちにするために、どのような構想を考えていますか

まず、注力したいのは**環境政策**です。近年の国内外の動きを見ると、今後非常に大きなウェイトを占めると感じていますし、気候変動は本市の基幹産業である観光と農業に直接影響を及ぼすので、切り離せない課題です。気候変動が起こってから対策を考えるという姿勢ではなく、**予見性を高め、積極的な対策**をしたいです。例えば、「10年後に気温が○度上昇するだろう」と予測さ

れたとします。観光分野では、従来のように避暑地として売り出すのではなく、ラフティングやカヤックなど暑さを楽しむ観光地への転換、農業分野では、作物の品種改良や転作などの対策が考えられます。

また、**自然災害への対応**も課題です。特に、災害によって電力供給が止まってしまうこと。将来的には、地域で作る電力を非常時に地域内に供給できるようにするなど、**ライフラインを途切れさせないようにする必要がある**と考えています。

近年全国で相次ぐ災害や新型コロナウイルス感染症を経験したこと、これからの時代は世の中の在り方や常識が大きく変わっていくと思います。災害やパンデミックが起き

ても「ここに住んでいけば安全・安心に生き延びられる」というまちななるよう、**地域で最低限の自給自足**ができる仕組みを作りたいですね。



### 市長から皆さんへのメッセージ

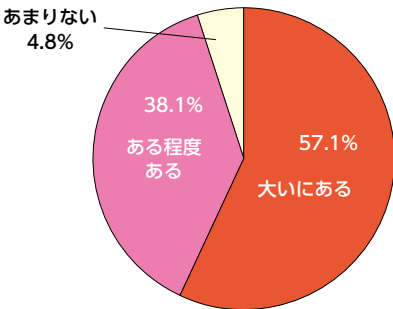
2020年は多くの皆さんにご理解とご協力をいただき、本当に助けられた1年でした。分散登校や臨時休校のときに大きなパニックが起こらなかったり、マスクや消毒液を多くの企業や市民から寄付していただいたりと、市と皆さんとの強い信頼関係を感じました。この信頼関係を大事にし、さらに助け合える仕組みを作りたいと考えています。皆さんの知恵を借りながら、本市をよりよいまちにしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

皆さんに聞きました！

### 日頃の生活で、気候変動の影響を感じますか？

出典：市民参加による気候変動情報収集・分析事業 ヒアリング調査(8～10月)

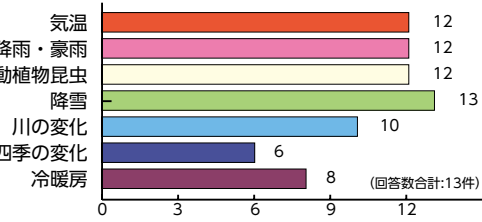
農業 育てている作物への影響は ※農業(耕種)関係者へのヒアリング。



病害虫が増えたため、防除にかかる時間や経費、薬剤などが変化した。

暑さで果実の大きさがふぞろいになったり、収穫量が減ったりしている。

観光業 身近な環境で感じる影響は ※観光関係者へのヒアリング。



冷房の設置・稼働が欠かせなくなった。

局地的な豪雨がよく発生するようになり、増水や水害が増えた。

雪景色が見られなくなり、雪かきの手間が減ってきた。

学校 厳しい暑さによる影響は ※学校へのヒアリング。

学校行事や学習内容の時期や時間帯を変更した。

屋外や体育館など、冷房のない場所の暑さが厳しく、活動がかなり制限されてしまう。